

三重県 尾鷲市（間伐業務委託）

- ▶ …尾鷲市は、急峻な山岳地帯であり、やせ地である不利な条件を逆手にとり高品質な「尾鷲ヒノキ」を生産するとともに、生物多様性にも配慮した森林管理が認められ「日本農業遺産」にも登録されている。しかしながら、この地域においても放置林が増加しており、森林環境譲与税の財源と森林経営管理制度を活用し公益的機能の保全に努め災害から地域を守るとともに、「尾鷲ヒノキ林業」の伝統を後世に引継ぐため、森林整備を推進する方針である。
- ▶ 令和4年度では集積計画策定面積である13.92haの間伐を実施し、森林の保全及び森林所有者の所有意識の向上に繋がる活動を実施した。

□ 事業内容

森林経営管理事業 間伐業務委託 須賀利地区

【事業費】 5,500千円（うち譲与税5,500千円）

【実績】 対象面積 13.92ha



（間伐確認①）



（間伐確認②）



（直径確認）

□ 工夫・留意した点

- ・本制度では、森林の所有界を明確にすることが困難なため、合意形成を得た山林を施業界と位置づけ、森林整備を実施した。
- ・伐採時には切り倒された木を玉切りにすることで、伐採木を地面に設置し、伐採木の転落防止や土留めの効果に繋がった。を防ぎ、土留めの効果を期待する。
- ・長期間の未整備林の為、枯損木が多く占めることから、環境への負荷をかけないための間伐本数の見極めに工夫が必要となった。

□ 取組の効果

- ・市内の未整備林を適正に管理することで、森林の健全化を図り、今後、尾鷲ヒノキとしての水準の木材に近づけることが出来た。

◇ 基礎データ

①令和4年度譲与額：36,580千円	②私有林人工林面積（※1）：9,701.56ha	
③林野率（※1）：9.2%	④人口（※2）：160,092人	⑤林業就業者数（※2）：29人

※1 「令和元年度版 三重県森林林業統計書」より、

※2 「令和5年5月現在」

※3 「令和3年度尾鷲市統計書」